



おいしく安全に食べるために

嚥下障害(えんげしょうがい)をご存じでしょうか?脳卒中や加齢に伴い、飲み込みの力が弱くなってしまうと、ムセが増えたり、今まで当たり前のように食べていた食事が摂れなくなる場合があります。

当院では言語聴覚士や看護師が1人1人患者さんに合った形の食事を選び、提供しています。以前食べていた食事にできるだけ近づけるよう、飲み込みの練習を行っており、必要であれば、嚥下造影検査という飲み込みの検査も行っています。



ミキサー粥・嚥下調整食1(ゼリー食)



全粥・嚥下調整食2(ペースト食)



トロミ粥・嚥下調整食3(ソフト食)



二炊き・嚥下調整食4(軟らか食)



米飯・常食

安全に食事が摂れるように形や硬さを工夫した食事(主食・副食それぞれ)を5種類用意しています。また、見た目も楽しんでいただけるよう、形や彩りも工夫しています。
※7/25土用丑の日のメニューは「ひつまぶし」で患者様からも好評でした!

外来診療担当表

平成29年10月1日より

		月	火	水	木	金	土
午前	1診	中尾 一久 (循環器内科)	中尾 一久 (循環器内科)	田尻 祐司 (内分泌代謝内科)	—	中村 佐知子 (循環器内科)	入江 研一 (神経内科)
	2診	竹下奈穂 (循環器内科)	吉崎 学 (内科)	永田 剛 (循環器内科)	永田 剛 (循環器内科)	—	松本 久美 (呼吸器内科) 10時～
	3診	—	—	—	吉崎 学 (内科)	山下 寿 (整形外科)	松瀬 博夫 (整形) 第2・4週
午後	1診	—	中尾 千穂子 (内科)	中尾 一久 (循環器内科)	—	中村 佐知子 (循環器内科)	
	2診	竹下奈穂 (循環器内科)	—	田尻 祐司 (内分泌代謝内科)	永田 剛 (循環器内科)	—	
	3診	—	—	吉崎 学 (内科)	—	山下 寿 (整形外科)	



朝、晩の気温が一気に下がり過ごしやすい季節になりました。秋といえば人それぞれ思い浮かべるものがあると思いますが、私はスポーツの秋を思い浮かべます。最近では桐生選手の9秒台・グラチャンバレーとスポーツ界も賑わっていますね。今後も日本人選手の活躍が楽しみです。

広報委員 武石



高良台の



リハケア部長(医師)

姫野 秀嵩

目には見えないけれど、大切なものってありますよね。

しかも、あるのとないのでは大違いというようなもの。みなさんは何を思い浮かべますか。

感謝、謙虚、希望、志、夢などなど。他にも、誇りとか魂とか愛とか神仏とか。

私も人生半ばをすぎ、これからは目に見えないものこそ、より大事にしていきたいと思うことが多くなりました。

「風」もそうですね。そのものは目には見えませんが、確かにあって、そして感じるすることができます。「高良台からの風」が、

みなさまに何か良いものをお届けできますように。そしてそれを感じていただけますように。



医療法人社団久英会

高良台リハビリテーション病院

〒830-0054 福岡県久留米市藤光町 965-2

TEL (0942)51-3838

FAX (0942)51-3535

URL <http://www.kyueikai.jp>

E-mail kouradai-web@kyueikai.jp



TOPICS

8月4日 第46回水の祭典 久留米まつり

「一万人のそろばん総踊り」に参加しました！

夕方を過ぎ久留米市の明治通りには法被や浴衣、他にも様々な衣装を身にまとった人々が大勢集まり、路上には提灯や出店が並び祭に彩りを加え大いに盛り上がりを見せていました。46年の歴史ある水の祭典は久留米市民にとっても思い出のある祭だということが伺えます。そんな久留米市民に愛されている祭に今回初めて参加させて頂きました。スピーカーから流れる大きな音に私達は夏の暑さにも負けず、若く元気の良い声を挙げ明治通りを踊っていきました。



水の祭典では路上に配置された審査員が各踊り連を審査する、『踊りまくりコンテスト』というコンテストがあり、グランプリやそろばん踊り大賞、他にも4種類の賞が用意されており、お祭も終盤に差し掛かり各受賞連の発表になりました。なんと、初出場である当院は『フレッシュで賞』という賞を頂くことができました。これには1ヶ月前から仕事終わりに練習してきた職員は大喜びでした。最後に大きなプレゼントを頂くことができました。今回、広報の一環ということで祭に参加させて頂きましたが自分達が元気をもらうような形になり本当に感謝の思いでいっぱいです。この思いを胸に今後も地域に少しでも貢献できるように日々頑張っていきます。

サポート部 地域支援チームの紹介



地域支援チームは、近隣の高齢化による自己健康管理の自立などをサポートするため様々な特徴を持った専門職種（看護師、ソーシャルワーカー、薬剤師、栄養士）からなる混成チームです。

現在、医師をはじめ看護師、介護士、リハビリ療法士、薬剤師、管理栄養士、ソーシャルワーカーなどが講師となり、荒木校区の健康づくり教室での講義「低栄養・食中毒について、薬の正しい使い方など」や、ふれあい食事会での講義「低栄養予防の食事について、高齢者福祉サービスについて」など、久留米市の介護予防サポーター養成講座の体力測定の援助などの活動を通し、地域に暮らす人々の健康管理の支援と地域交流を目的に活動を行っています（写真）。

今後、それぞれの専門性を生かし地域に密着したサポート体制づくりをチーム一丸となって邁進してまいりますので、みなさまのご協力をお願い申し上げます。

本年度も高良台ビレッジ祭を開催いたします！

今年も三遊亭歌之介師匠による特別講演や、屋外特設会場においてスタッフや地域の方々による楽しい催し物、飲食物などの各種出店を予定しております。皆様の多数のご来場をスタッフ一同心よりお待ちしております。

第14回高良台ビレッジ祭

【日時】平成29年10月22日（日）10:00受付開始

【場所】高良台リハビリテーション病院・高良台シニアビレッジ階 屋外開設ステージ

